

2010年チリ地震津波発生時における漁業関係者の対応とその課題

Reactions of the fishermen against for the Tsunami caused by the 2010 Chile earthquake

林 紀代美¹, 青木 賢人^{1*}

Kiyomi Hayashi¹, Tatsuto Aoki^{1*}

¹金沢大学地域創造学類

¹SRDS, Kanazawa Univ.

2010年チリ地震津波に対する漁業関係者の対応を明らかにするために、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下「警報等」）が発令された沿岸域に位置する漁業協同組合に対して郵送アンケート調査を行った。予稿集投稿時ではアンケート回収中のため暫定的な分析しか行っていないが、発表時には全体像を示す予定である。

演者らの2007年能登半島地震時のアンケート調査（林・青木，2008 [地域漁業研究]，青木・林，2009 [地理学評論]）では、海を生活の場としている漁業関係者は海での災害に対する関心や危機感が高く、津波に対する認識や行動が一般的な住民に比してより望ましい状況がみられた。そこで、遠地津波で対応に十分な時間を取ることができた今回の津波に対する漁業者の対応を把握することで、漁業者および漁業地域における津波防災にとって注視すべき点や課題の洗い出しを行うことを目的にアンケート調査を実施した。こうした事例を発掘・整理・共有することや、漁業関係者の「まなび」を評価することは、漁業者自身・漁業地域の津波防災力の強化に繋がるものと考えられる。

アンケートの結果、各漁協は警報等を過小評価する傾向にあり、気象庁による予想通りの規模の津波が来ると考えていた漁協は非常に少なかった。さらに、警報等の発令されていた時間が長かったこともあり、解除まで避難態勢を継続していた漁協は少なかった。また、今回の津波の想定規模が実際に到達した津波に比して過大だったこと、到達予想時間に誤差があったことから、気象庁予測に対する不信感が広まっていることも確認された（ただし、一部の漁協では安全重視の観点から、想定規模が大きかったことを評価する指摘も見られた）。次回以降の警報等発令時に適切な退避行動を実施してもらうためには、今回の津波の特徴や望ましい退避のあり方を振り返ることに加え、津波防災情報の持つ意味やその精度などの理解を深めることを目的とした漁業者をターゲットとした積極的な情報発信なども必要となろう。加えて、大規模津波災害の可能性が指摘されている地域の一部の漁協においても、退避マニュアルの整備や避難訓練の実施が行われていなかった状況が確認された。こうした地域では、漁業関係者と関係機関との連携やマニュアルの構築が急務である。

このような傾向にあって、1960年チリ地震津波やその他の津波災害の経験がある漁協では、比較的高い危機意識と適切な回避行動が取られていたことが確認された。一方、正しくない知識や一般化されない経験が誤った行動を引き起こした例（「波が引かなかったので避難行動を取らなかった」「前回のチリ地震津波に比べ北海道・東北での到達波高が小さかったので対応しなかった」など）も一部にみられた。これらのことから、津波防災力強化を進めるためには、継続的な訓練を続けていくこと、漁業者の持つ津波に対する知識や経験を整理し、伝承・定着させていくこと、そのための取り組みや防災教育が行われる必要があることを指摘できる。それと同時に、情報提供・防災教育などを通じて誤った知識体系の訂正を進めていくことが重要である。

また、発災が休日であったことから漁協事務所の多くが休業しており、漁協を経由した情報伝

達に困難があったことも記載されている。一部の漁協では、役所や海上保安庁などとの間で携帯電話などを用いた適切な情報伝達が行われていることが確認された。

漁船の「沖出し」や陸上固定実施に関しては、意志決定を行う主体や過程が明確化されていない漁協もみられた。また、警報等の発令時間が長かったことから「沖出し」の時間も長くなり、小型漁船では防寒や食料の確保などさまざまな課題があったことも確認された。一方で、人命保護の観点からは安易な「沖出し」に対する危険性も指摘されている。各漁業地域において想定されている津波の規模・到達時間などのケースに応じて、関係機関や漁協・漁業者の間での問題分析・合意形成を踏まえて、実施の有無などが十分に検討される必要もあろう。

東南海・南海／宮城県沖・三陸沖／北海道東方沖／などの津波災害が想定されている地域の漁協のなかには、今回の津波が来たるべき大津波災害に対する災害回避行動の「予行演習」としての見方があることも確認された。一部の漁協では、実際に来襲した津波の規模や被害の有無にかかわらず、津波対策マニュアルの整備・改良や、防災体制の再確認などを行う考えがあるとするケースもみられた。

キーワード:津波,漁業者,防災対策,改善

Keywords: Tsunami, Fishermen, Disaster prevention strategy, Kaizen